

令和元年度 児童発達支援・放課後等デイサービス事業所「遊楽」アンケート結果（事業所）

公表日 令和2年 3月19日

	チェック項目	はい	どちらとも言えない	いいえ	わからない	工夫している点 改善点など
環境・体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていますか	○				令和元年5月に引っ越しをし、トイシや手洗い場を増やすとともに、活動スペースも確保しました。
	② 職員の配置数は適切ですか (基準は児童5名に対して職員1名)	○				利用状況に応じて随時見直しを行います。
	③ 職員の支援方法などは適切ですか		○			常に適切な支援の在り方を今後も検証し、適切な支援に努めます。
	④ 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が必要に応じ適切になされているか	○				引っ越しをし、段差はほぼ無い状況となっています。
適切な支援	⑤ 子どもと保護者のニーズや課題を検討した上で、個別支援計画が作成されていますか	○				日々の情報交換や面談を定期的を実施し、今後もニーズに沿った計画を作成していきます。
	⑥ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されていますか		○			これまでと同様に長期休業中を含め、楽しめるプログラムのを今後も工夫していきます。
	⑦ 障がいのない子どもと活動する機会がありますか		○			地域の資源を積極的に利用するなどの工夫を行いながら、交流を図っていきます。
保護者への説明等	⑧ 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされていますか	○				契約時以外に説明の機会が少ない事から、面談時で説明の機会を持つなどの取り組みを継続します。
	⑨ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができていますか	○				日々の情報交換や連絡帳などでの情報交換を今後も継続してまいります。
	⑩ 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われていますか	○				日々の送迎時の情報交換の中では難しいことから、面談日などを設ける等の工夫を今後も行います。
	⑪ 茶話会などの保護者同士のつながりを支援する場がありますか		○			懇親会は実施しています。茶話会などもっと参加しやすい工夫を今後検討します。
	⑫ 子どもや保護者からの苦情について、対応する体制が整備されていることを知っていますか	○				契約時以外に説明の機会がない事から、面談時に説明の機会を設けていきます。
	⑬ 苦情に対して適切に対応していますか		○			苦情、要望に対しましては、丁寧且つ迅速な対応を心がけております。
	⑭ 連絡帳などを活用して、日々の活動の様子が共有されていますか	○				日々の情報交換や連絡帳などでの情報交換を今後も継続してまいります。
	⑮ 定期的に通信や会報・ホームページ等で活動概要や行事予定、連絡体制等の情報が発信されていますか	○				毎月のおたよりの発行などを継続しながら、さらに情報発信できるように工夫していきます。
⑯ 個人情報には十分注意されていますか		○			個人情報については慎重に管理することを徹底します。	
非常時等の対応	⑰ 緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルなどを策定し、保護者に周知・説明されていますか		○			契約時以外に説明の機会がない事から、説明の機会を今後設けていきます。
	⑱ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われていますか		○			避難訓練は年2回実施していますが、利用状況により体験できない児童もいることから、今後回数などを検討します。
業務改善（追加）	⑲ 事業計画が策定され、職員が参加した会議の中で、評価・振り返りがされているか	○				中期計画を作成し、全体での確認などを定期的を実施し、評価と振り返りを行っています。
	⑳ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○				アンケート実施後、全体会議を実施し、業務改善の検討を実施しています。
	㉑ 自己評価を積極的に開示し、評価結果を業務改善につなげているか		○			情報の開示は実施しています。改善できた点と改善できていない点もあるため、今後改善を行います。
	㉒ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○				研修の機会は確保しており、支援へのフィードバックを行っている。

		チェック項目	はい	どちらとも言えない	いいえ	わからない	工夫している点改善点など
説明責任	⑳	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○			地域住民との関係を築くための取り組みを実施しています。
非常時等の対応（追加）	㉑	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○				日々の打ち合わせや会議等での確認、会議等での周知を今後も実施していきます。
	㉒	やむを得ず身体拘束を行う際、どのような場合に行うか組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか					非該当
	㉓	食物アレルギーのある子どもについて、保護者の指示や必要に応じて医師の指示書に基づく対応がされているか					非該当
	㉔	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○				ヒヤリハットの検証作業を行い、安全の確保を今後も徹底します。
適切な支援の提供	㉕	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○			アセスメントツールはありますが、改良が必要です。
	㉖	活動プログラムの立案を職員間で話し合っているか	○				いろいろなアイデアを出し、今後も実践を行います。
	㉗	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○			課題の設定は行っていますが、きめ細やかな部分については、改善を図ります。
	㉘	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画（すくらむ）を作成しているか		○			個別支援と集団支援のバランスなど改善が必要な部分もあるため、今後改善を行います。
	㉙	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○				今後も打ち合わせを徹底し、スムーズに支援が提供できるように努めます。
	㉚	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○				今後も打ち合わせを徹底し、支援の在り方を検証して、より良い支援を行います。
	㉛	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○				振り返りにも使えるように今後も適切な記録を行います。
	㉜	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画（すくらむ）の見直しの必要性を判断しているか	○				定期的な見直しなどは実施しているが、ケースに応じた柔軟な対応が必要である。
関係機関や保護者との連携	㉝	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	○				今後もガイドラインを遵守した支援の提供に努めます。
	㉞	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況を最もよく理解している支援員が参加しているか	○				相談支援事業所との連携を強化し、今後も支援を行います。
	㉟	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○				学校を含めた関係機関との連携を強化し、今後も支援を行います。
	㊱	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○				今後も医療関係者と連携を図り、安全な支援の提供に努めます。
	㊲	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○			ケースによっては不十分なことがあるため、連携体制を強化する。
	㊳	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○				成人期のサービス提供事業所と連携を強化し、スムーズに移行できるように努めます。
	㊴	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○			ケースに応じた対応ではあるが、機関が身近にないことを含め活用する方法を検討する。
	㊵	旭児連や（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○				地域づくりの観点から今後も積極的に参加をします。
	㊶	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対する具体的な支援を行っているか		○			必要に応じて家庭訪問や面談、支援方法の助言などを実施している。